

特集 8

第1回皮膚科サマースクールの 報告について

皮膚科サマースクールは、医学生や研修医を対象として、医学科の臨床実習や初期研修のローテーションの時間だけでは伝えきれない皮膚科

の幅広いと奥深さを分かりやすく解説するとともに、皮膚科は楽しさや甲斐に満ちた魅力ある診療科であることを伝えることを目的に企

図1. ダーモスコピー実習

図2. 豚皮を用いた皮膚外科ハンズオンセミナー



図3. スクール修了後に島田理事長を囲んで



図4. サマースクールワーキンググループ
(左から大山大、蓮沼直子、多田弥生、加藤則人、奥山隆平、森田明理)

画されました。新生児から高齢者まで、皮膚や粘膜に病変が現れるさまざまな疾患を診る、忙しくも楽しい日々を送る皮膚科のプロフェッショナルたちの熱い思いを、若い人たちに伝えるべく、6名のワーキンググループで1年以上にわたって計画を練り、島田眞路理事長、秀道広キャリア支援委員会委員長、JDA事務局の方々のご理解と絶大なサポートのもと、第1回サマースクールを7月17日(日) 18日(月・祝)の1泊2日の日程で山梨県小淵沢において開催することができました。

ハケ岳を望む大自然の中で、全国から集結した講師・チューター*やワーキンググループのメンバーらによる皮膚科への熱い思いがあふれるレクチャーやダーモスコピーを使っ

た実習、グループ対抗クイズ、お揃いのJDA特製スクラブを着用してエキスパートの技術を学べる皮膚外科のハンズオンなどを通じて、皮膚科の楽しさを若い参加者たちと存分に共有できる盛り多い2日間になりました。皮膚科医のキャリアパスや専門医制度、研究の面白さも披露されました。1日目の夜はバーベキュー・パーティーに続いて二次会も熱気と笑いにあふれ、会終了後も遅くまで語り合う姿が見られました。参加した皮膚科医にも学生や研修医たちとのセミナーを通じて気づきや活力がもたらされたことと思います。

このサマースクールに参加した学生や研修医たちが一人でも多く皮膚科への興味を深め、未来の皮膚科を担う力になることを願っています。

来年も7月16日(日)、17日(月・祝)に山梨県小淵沢でサマースクールを開催する予定です。皮膚科に興味のある医学科生や研修医のご参加ご推薦を心からお待ち申し上げます。

*講師: 安部正敏、石河晃、小林美和、田中勝、玉井克人、千貫祐子、常深祐一郎、中村泰大
皮膚外科チューター: 浅井純、大沼毅紘、加藤裕史、佐藤洋平、田中隆光、光榮文生(敬称略、五十音順)

執筆者
加藤則人
皮膚科サマースクール2016実行委員長
京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学教授